

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築						
市町村名	中野市		ふりがな箇所名	(一)中野小布施線		事業年度	延徳		事業年度(完了年度は見込み)		H23年度～	H27年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=320m W=6.0(9.75)m					H22年度末事業進捗率	0%						
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%						
	H23年度実施内容	路線測量 1式					用地補償費ベース	0%						
	事業費計(千円)	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残							
	財源内訳	国庫支出金	300,000	0	0	5,000	300,000							
	その他													
	県債	270,000	0	0	4,500	270,000								
	一般財源	30,000	0	0	500	30,000								
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課			
									ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上			1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満		B	B	2	2		
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある		5			5			
		ネットワーク (道路網)	バス路線である			駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		3			3			
			ボトルネック箇所			ボトルネック箇所でない		0			0			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない		2			2			
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)			4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)				6	6		
		他事業との関連	歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		4			4			
			河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施					0			0			
	小計									22	22			
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		C	C	3	3	
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)			緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない				0	0	
		小計											3	3
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	A	5	5	
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内			事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上				5	5	
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない				5	5	
	小計									15	15			
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	A	10	10	
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に係らない道路				6	6	
		小計											16	16
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	B	6	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない				3	3	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない				4	4	
		小計											13	13
費用対効果(B/C)		3.2			評価の合計				B	69	B	69		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線沿線は、周辺にキノコ工場や住宅の立地が進み交通量(特に大型車)が増加している。また、本路線は通学路に指定されているが、大型車の混入に伴い通学時の児童の安全が脅かされている。このような状況のもと、本事業を実施することにより児童の交通安全に寄与するものである。												
	地域からの要望経緯	H20.2.1 南部地域県道整備促進期成同盟会及び整備促進委員会が、本路線の建設改良促進について建設部長へ要望している。												
	事業説明等の経緯	H20.11.13 整備促進委員会へ事業について意見交換を行う。 H21.2.2～13 整備促進委員長、区長、延徳小学校教頭に事業について説明。												
	環境・景観への配慮項目	土羽部分については法面を緑化することにより、沿道周辺の緑化を図る。												
	他事業・プロジェクトとの関連	長野電鉄踏切り南については、県単交安(一種)事業による歩道整備を要望している。												
特記事項	平成20年12月25日、地元区長から地権者10名中8名の署名と捺印がされた、地権者の用地買収に全面的に協力する旨の同意書が提出される。(残り2名は延徳郵便局と中野市)													
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他					
部意見	生活道路及び通学路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する効果もあるため、H23年度から事業化をしたい。				政策評価課	意見		緊急性は認められる。						